

第661回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1. 沖縄都市モノレール延長整備事業

..... 那覇市首里汀良町～浦添市前田

- ・都市の健全な発展と連携・交流を促進し、高齢化社会や地球環境問題等に対応した、自動車等とモノレールを基軸とした公共交通が共存する沖縄らしい戦略的な交通体系整備が強く求められている。
- ・首里駅から沖縄自動車道（西原入口）までのモノレール延長区間の整備に取り組み、首里駅～てだこ浦西駅までの約4.1kmの間に4駅の整備を完了し、令和元年10月1日に開業。
- ・駅を中心としたまちづくりが促進されることで、新たな観光回遊ルートが地域の発展に寄与し、沖縄観光の魅力の向上につながることを期待。
- ・モノレールを整備することで、地球温暖化防止を目指し、温室効果ガスの削減にも寄与し、高齢者・障害者・子供たちまで全ての人にやさしい公共交通機関として期待されている。



2. 一般県道20号線（泡瀬工区）橋梁整備事業

..... 沖縄市泡瀬地先

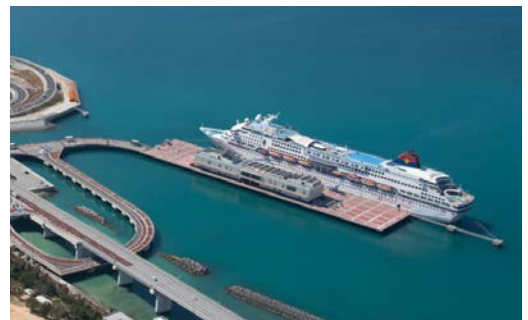
- ・沖縄本島中部東海岸地域の活性化を図る埋立人工島にアクセスするための海上架橋事業。
- ・橋梁は、橋長 810m、幅員 23.3～24.4m の P C 4 径間プレキャスト中空床板（142.75m）＋ P C 12 径間連続箱桁橋（667.25m）で構成。
- ・人工島まで工事用仮架橋を設置して施工。下部工は、直接基礎と鋼管杭基礎、上部工箱桁は、人工島で製作して架設桁にて張出架設。
- ・現在、仮架橋と下部工 19 基中 14 基完了しており、下部工 5 基や上部工桁製作設備などを施工中。
- ・架橋周辺には、南西諸島で最大級の干潟である泡瀬干潟が位置しており、絶滅危惧種である日本固有種の藻類クビレミドロや世界的な分布の北限となっているトカゲハゼが生息している。
- ・トカゲハゼ保全のため、下部工などの海上工事は 8～3 月の 8 ヶ月間のみ工事を実施。



3. 旅客船ターミナル整備事業（那覇クルーズターミナル）

..... 那覇市若狭

- ・沖縄県の自立的経済発展のリーディング産業として観光産業が位置づけられており、そのなかでも、国内外からの大型クルーズ船を利用した観光の進展は、今後、ますます期待されている。
- ・那覇クルーズターミナルがある泊ふ頭8号岸壁は、現在那覇港で唯一のクルーズ船専用岸壁であり、17万トン級以下かつ船長が335m以下の船舶に対応した岸壁となっている。
- ・旅客ターミナルは、1階にエントランスホール、インフォメーションコーナーが設置されており、2階が主に出入国、税関審査等のためのスペースのほか、沖縄の伝統工芸品やクルーズ船の記念楯などが展示されている。3階は展望デッキとなっており、クルーズ船接岸時には間近に見ることが出来る。また、ターミナル内には無料のW i F i が整備されている。
- ・本バースは耐震強化岸壁としても整備を行い、大規模地震発生時には緊急物資の輸送拠点となる。
- ・なお、大型船舶（全長335m超）入港時もしくは複数船舶の同時入港時はやむを得ず他の貨物岸壁を用いて対応しており、本年度以降寄港回数の増加への対応や旅客の安全等のために新たなクルーズ船専用岸壁を整備する予定である。



4. 那覇空港自動車道 小禄道路整備事業

..... 那覇市～豊見城市

- ・那覇空港自動車道は、沖縄自動車道と那覇空港を結び、沖縄本島中北部地域との連携強化及び那覇都市圏における渋滞緩和を目的とした延長約18kmの高規格幹線道路。
- ・小禄道路は、那覇空港自動車道の一部区間で、那覇空港 I C から豊見城・名嘉地 I C 間の延長約6km。
- ・2011年度に事業化され、開通すると、那覇空港と沖縄島北部のアクセス性が向上するとともに、那覇都市圏の渋滞緩和にも寄与。
- ・なお、他区間（豊見城東道路、南風原道路）は全線4車線開通済み。

